

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	現代文B (「論理国語」を想定)	学科・コース	2 学年美術科					
単元名	松陽版『手の変幻』を作ろう							
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論証したり, 学術的な学習の基礎を学んだりするための語句の量を増やし, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにすること。 [知識・技能 (1)イ] ・ 「手の変幻」に関連する複数の文章や資料を基に, 必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり, 深めたりすること。 [思考・判断・表現 B読むこと (1)キ] ・ 言葉を通して他者や社会に関わろうとすること。 [学びに向かう力, 人間性等] 							
課題	清岡卓行『手の変幻』「失われた両腕 ミロのビーナス」を踏まえ、自分が興味のある美術作品における「手」について、紹介文や鑑賞文を作成し、松陽版『手の変幻』を作成しよう。							
単元の中心となる問い	『手の変幻』で筆者が伝えようとしたことは何か							
評価規準 (B段階)	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	本文中の語句や語彙の使い方を, 辞典を引くなどして理解している。 紹介文や鑑賞文に使う語句の定義を確認している。 (1)イ		「世界と, 他人との, あるいは自己との, 千変万化する交渉の手段」となる「手」の例を挙げている。(B(1)キ)		筆者の意図を解釈し, 学習課題を粘り強く完成させようとしている。			
	SP9	基	SP9	分見発	SP9 奏連			
評価場面・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	ノート 単元テスト 言語活動		言語活動 単元テスト ノート		言語活動			
単元の指導計画	時	学習活動			指導と評価の観点			
					知	思	態	SP9
	1	通読・概要をつかむ			◎		○	基礎力
	2	内容段落一段落の読解			○	◎		分析力
	3	内容段落二段落の読解			○	◎		分析力
	4	内容段落三段落の読解			○	◎		分析力
	5	本文全体の把握			○	◎		分析力
	6	振り返り・単元テスト			○	◎		自奏力
	7	題材の収集・選択				◎	○	見聞力
	8	題材の検証 (本時)			○	◎		分析力
	9	紹介文・鑑賞文の作成			○	◎		発信力
	10	紹介文・鑑賞文の完成			○	◎		発信力
11	紹介文・鑑賞文の相互鑑賞・本文の確認					◎	連携力	

※本時の実際は裏面にあります。

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時	令和4年11月7日(金)	指導者		
学級	2年8組	場所	2年8組教室	
単元名	松陽版『手の変幻』を作ろう			
課題	清岡卓行『手の変幻』「失われた両腕 ミロのビーナス」を踏まえ、自分が興味のある美術作品における「手」について、紹介文や鑑賞文を作成し、松陽版『手の変幻』を作成しよう。			
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	
	導入 (5分)	<ol style="list-style-type: none"> 1 『手の変幻』の構成と「失われた両腕」の内容について、振り返る。 2 本時の目標の確認 	<ol style="list-style-type: none"> 1 筆者が「腕というもの、もっと切り詰めて言えば、手というもの」をどのように捉えていたか、確認させる。 2 『手の変幻』を見せて、最終的に1冊の本を作るイメージを喚起する。 	SP9 基礎力
	展開 (35分)	<ol style="list-style-type: none"> 3 グループ活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自分の持ってきた題材について、それぞれ話す内容を確認する。 (2) 自分の持ってきた題材について、順番に説明する。 (3) それぞれの題材が『手の変幻』の「失われた両腕」に続く文章として、適切かどうかを検討し、判断する。 (4) グループで出た意見を基に、各自で題材を決定する。 (5) 早く決定したグループは、作成にとりかかる。 	<ol style="list-style-type: none"> 3 : 1グループ, 3~4人。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 題材と本文のつながりとその美術作品を選んだ理由を必ず、説明に入れさせる。 (2) 題材の出典について、不明な点は必ず確認させる。 (3) 判断がつかない場合は、教員への質問として書き留めさせる。 (4) 適切な題材が決定しない場合は、適切な題材を共有させる。 <p>◎評価：行動の観察、記述の確認 ・グループのメンバーと協働して、検討判断している。 [主体的に学習に取り組む態度] ・題材の出典を提示している。 [知識・技能]</p>	連携力 分析力
	まとめ (10分)	<ol style="list-style-type: none"> 4 本日の活動について、「振り返りシート」で自己評価をおこなう。 5 次時の予定について、確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> 4 決定した題材, 出典, 本文とのつながり, グループから出された質問を簡潔に書き留めさせる。 <p>◎評価：「振り返りシート」記述の分析 ・手の持つ「象徴的な意味」について考えている。 [思考・判断・表現]</p>	自奏力